



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社中央製作所  
コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 太田 浩

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,348	3.6	18	△60.4	29	△45.9	18	△63.6
27年3月期第2四半期	2,266	24.1	47	—	55	—	50	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 1百万円 (△98.9%) 27年3月期第2四半期 110百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	2.38	—
27年3月期第2四半期	6.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第2四半期	5,052		1,940		38.4	
27年3月期	5,270		1,978		37.5	

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 1,940百万円 27年3月期 1,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	1.9	250	△18.7	264	△17.8	158	△43.2	20.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	7,843,000 株	27年3月期	7,843,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	82,382 株	27年3月期	81,133 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	7,761,479 株	27年3月期2Q	7,765,306 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産実績	10
(2) 受注実績	10
(3) 販売実績	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調、原油安などに伴う大企業の業績改善を受けて、緩やかな回復基調が継続するとともに、中堅企業においても、企業マインドは全般的に前向きな姿勢が窺えておりました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速が鮮明となり、その影響が世界的な景気低迷に対する懸念材料となっていることから、企業収益が改善傾向にありながらも、設備投資に対しては慎重な姿勢が表れる状況に変化してまいりました。

こうした中、当社グループは国内外を問わず需要の掘り起こしに努めるとともに、新製品、新技術の開発による新規顧客の獲得や、競争力強化のためのコスト低減等に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は2,469百万円(前年同期比13.8%減)、売上高は2,348百万円(前年同期比3.6%増)となりました。損益については、営業利益18百万円(前年同期比60.4%減)、経常利益29百万円(前年同期比45.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円(前年同期比63.6%減)となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

#### (電源機器)

電源機器につきましては、小型インバータ電源の拡販に重点を置き、リードタイムの短縮、コスト削減に取り組み生産・販売活動を行ってまいりました。また、国内電池業界向けの二次電池用充放電電源機器への継続的な注力や、特殊電源機器における積極的な新規顧客開拓により、オーダーメイド型製品の受注が継続的かつ堅調に推移いたしました。

その結果、受注高は713百万円(前年同期比7.8%増)、売上高は796百万円(前年同期比17.1%増)となりました。

今後は、変化する生産現場への技術対応を念頭に、オープンネットワーク対応の推進など生産ニーズに的確に応えられる技術、製品の提供を通じて拡販に努めるとともに、様々な市場に目を向けて新たなビジネスチャンスを見出し、さらなる基盤拡大を目指してまいります。

#### (表面処理装置)

表面処理装置につきましては、国内外における様々な業界の新規・更新需要に対して積極的な提案営業を実施し、受注の確保に取り組んでまいりました。

その結果、受注高は1,064百万円(前年同期比3.6%減)と若干落ち込んだものの、売上高は858百万円(前年同期比37.2%増)と大きく増加しました。

今後も新しい生産方式に対する積極的な技術提案による新規設備需要への対応と更新需要の確保、更には海外子会社、国内商社との連携によるアジア、中米の市場開拓を進め、受注・売上の確保に努めてまいります。

#### (電気溶接機)

電気溶接機につきましては、自動車関連業界のほか、建設資材業界など内需型産業についても、新規・更新需要に対して積極的に取り組んでまいりました。また、海外における電子部品業界を中心とした新規・更新需要につきましては、海外代理店との連携を密にして積極的な拡販に努めてまいりました。しかしながら新規設備投資の需要低迷の影響は避けきれず、受注高は324百万円(前年同期比45.0%減)、売上高は310百万円(前年同期比39.7%減)といずれも大きく減少いたしました。

今後も引続き内需型産業における需要の掘り起こし、新市場開拓に向けた新製品開発に注力するとともに、海外代理店との連携を密にして、東南アジアを中心に新市場の開拓に注力し、受注・売上の拡大を図ってまいります。

#### (環境機器)

環境機器につきましては、機能改善を含めたモデルチェンジに取り組んでまいりました。

その結果、受注高は164百万円(前年同期比10.8%増)、売上高は200百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

今後は、海外子会社を活用し、中国市場に対してモデルチェンジした光沢剤自動添加装置、超音波洗浄機や好評を頂いております無電解ニッケルめっき液管理装置等の液管理装置および大気濃縮回収装置、エッチング液再生装置などのリサイクル装置を積極的に提案し、受注・売上の確保に繋げてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4.6%減少し4,124百万円となりました。これは、商品及び製品が30百万円、仕掛品が63百万円増加したものの、現金及び預金が255百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し927百万円となりました。これは、投資その他の資産が15百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4.1%減少し5,052百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7.2%減少し2,338百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が174百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ0.1%増加し772百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ5.5%減少し3,111百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し1,940百万円となりました。これは、利益剰余金が20百万円、その他有価証券評価差額金が17百万円減少したことなどによります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首時点に比べて255百万円減少し1,316百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は186百万円(前年同四半期は収入159百万円)となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額15百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額174百万円、たな卸資産の増加額104百万円等であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は30百万円(前年同四半期は支出19百万円)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出26百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は38百万円(前年同四半期は支出0百万円)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額38百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月30日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」にも記述しましたように、平成27年5月14日公表の当初予想に変更はありません。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,721,391	1,466,332
受取手形及び売掛金	1,411,581	1,392,259
電子記録債権	315,303	319,529
商品及び製品	97,269	127,378
仕掛品	619,282	682,796
原材料及び貯蔵品	99,425	111,449
その他	67,712	30,531
貸倒引当金	△6,410	△5,820
流動資産合計	4,325,557	4,124,458
固定資産		
有形固定資産	308,136	306,809
無形固定資産	16,321	15,131
投資その他の資産	620,789	605,748
固定資産合計	945,247	927,689
資産合計	5,270,805	5,052,148
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,186,160	1,011,793
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	43,191	15,782
その他	451,109	471,353
流動負債合計	2,520,461	2,338,929
固定負債		
役員退職慰労引当金	208,400	215,900
退職給付に係る負債	502,174	503,634
その他	61,685	53,441
固定負債合計	772,260	772,975
負債合計	3,292,722	3,111,905
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,054,743	1,034,429
自己株式	△12,449	△12,664
株主資本合計	1,770,879	1,750,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,394	177,921
為替換算調整勘定	11,809	11,970
その他の包括利益累計額合計	207,204	189,892
純資産合計	1,978,083	1,940,242
負債純資産合計	5,270,805	5,052,148

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,266,867	2,348,720
売上原価	1,734,573	1,818,283
売上総利益	532,294	530,437
販売費及び一般管理費	484,480	511,505
営業利益	47,813	18,931
営業外収益		
受取利息	325	149
受取配当金	3,461	4,181
持分法による投資利益	5,620	9,077
為替差益	451	—
その他	1,624	2,024
営業外収益合計	11,482	15,433
営業外費用		
支払利息	3,739	3,665
為替差損	—	538
その他	190	223
営業外費用合計	3,930	4,427
経常利益	55,366	29,938
特別損失		
固定資産処分損	113	100
特別損失合計	113	100
税金等調整前四半期純利益	55,252	29,838
法人税、住民税及び事業税	4,455	11,342
法人税等合計	4,455	11,342
四半期純利益	50,796	18,495
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,796	18,495



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	50,796	18,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,371	△17,472
為替換算調整勘定	△2,011	161
退職給付に係る調整額	30,848	—
その他の包括利益合計	59,208	△17,311
四半期包括利益	110,005	1,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,005	1,184
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	55,252	29,838
減価償却費	21,174	23,599
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,300	△714
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,471	1,460
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△20,900	7,500
受取利息及び受取配当金	△3,787	△4,331
支払利息	3,739	3,665
持分法による投資損益(△は益)	△5,620	△9,077
固定資産処分損益(△は益)	113	100
売上債権の増減額(△は増加)	242,927	15,154
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,083	△104,044
仕入債務の増減額(△は減少)	60	△174,410
その他	98,367	63,122
小計	168,474	△148,138
利息及び配当金の受取額	3,787	4,331
利息の支払額	△3,760	△3,681
法人税等の支払額	△8,816	△38,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,685	△186,401
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,061	△26,898
無形固定資産の取得による支出	△7,214	△1,490
投資有価証券の取得による支出	△257	△334
長期貸付けによる支出	△400	△1,000
長期貸付金の回収による収入	170	180
その他	△160	△498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,923	△30,041
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△321	△215
配当金の支払額	-	△38,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321	△38,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△973	102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	138,466	△255,059
現金及び現金同等物の期首残高	1,114,975	1,571,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,253,442	1,316,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	759,264	1.8
表面処理装置	930,629	40.8
電気溶接機	363,580	△34.5
環境機器	189,999	24.1
その他	213,495	△51.6
合計	2,456,969	△3.9

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	713,403	7.8	305,502	△13.6
表面処理装置	1,064,029	△3.6	923,448	△22.7
電気溶接機	324,053	△45.0	127,957	△39.6
環境機器	164,230	10.8	28,510	3.3
その他	203,640	△43.5	186,577	△44.1
合計	2,469,357	△13.8	1,571,995	△25.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	796,798	17.1
表面処理装置	858,670	37.2
電気溶接機	310,027	△39.7
環境機器	200,144	△0.4
その他	183,080	△25.4
合計	2,348,720	3.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。